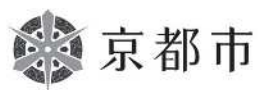


京都市民の投票行動

— 京都市議会議員一般選挙（平成27年4月12日執行）を素材として —

京都市選挙管理委員会



京都市民の投票行動

— 京都市議会議員一般選挙（平成27年4月12日執行）を素材として —

刊行のことば

当委員会では、京都市民の政治意識及び投票行動の実態を把握し、選挙時や常時啓発事業のより一層の効果的な企画、実施及び円滑な選挙の管理執行の基礎資料とするために、京都市明るい選挙推進協議会の小委員会である「京都市民の政治意識研究部会」に依頼して、過去２２回にわたって調査を実施し、その結果を逐次刊行してきました。

このたび刊行いたします「京都市民の投票行動」は、平成２７年４月１２日に執行された京都市議会議員一般選挙の終了後に行った調査の結果をまとめたものであり、今後の選挙管理執行上の貴重な資料として啓発事業等に十分活用したいと考えております。

最後になりましたが、この調査に御協力いただきました多くの有権者の皆様と「京都市民の政治意識研究部会」の先生方に対し、厚く御礼申し上げます。

平成２８年３月

京都市選挙管理委員会

ま え が き

この調査報告書は、平成27年4月12日執行の京都市議会議員選挙における、京都市民の政治意識及び投票行動の分析をまとめたものである。京都市明るい選挙推進協議会の小委員会「京都市民の政治意識研究部会」は、京都市選挙管理委員会からの委託を受けて、選挙終了直後に調査を実施し、その分析を行った。

昭和44年以来、私たち研究部会は各種レベルでの選挙調査を続けてきた。市議会議員選挙調査もこれまで10回行っており、京都市民の投票行動の変化と連続性を示すデータが蓄積されている。今回の調査においても、これまでの調査で用いた質問項目をできるだけ継続し、京都市民の投票行動の資料が充実することを心掛けた。もちろんそれだけでなく、各回の選挙ごとにおける政策や争点への意識についても注目した。

この報告書で分析した京都市民の政治意識や投票行動は、他都市の有権者の意識や行動を考える上でも役立つと思われる。できるだけ多くの方々に、今後の啓発活動の基礎資料として活用していただければ幸いである。巻末に調査の集計表を掲載しているが、そのデータは豊富な調査結果の一部に過ぎない。今後さらに、これまでの調査データの蓄積を生かした多角的な検討を行うつもりである。この調査及びデータの詳細については、本研究部会へ問い合わせさせていただきたい。

平成28年3月

京都市明るい選挙推進協議会

京都市民の政治意識研究部会

木 下 富 雄 (京都大学名誉教授)

村 山 皓 (立命館大学名誉教授)

西 澤 由 隆 (同志社大学教授)

目 次

I 選挙の概要	1
II 調査の方法	3
1 調査対象の抽出	3
2 調査方法	3
III 調査結果	5
はじめに	5
1 行政への期待	5
2 議員や議会への見方	7
3 政治と行政への意識	9
4 投票参加の呼びかけ	11
5 選挙での投票	14
6 代表者選出の選挙への見方	17
7 政治信頼, 行政信頼, 政治疎外感	20
8 議会や行政との新たな関係	22
9 まとめ	24
IV 集計表	31
V 調査票	421